

大人部活で子どもの笑顔をつくる

永田台小学校 学校応援隊 おやじ&フェス部

永田みなみ台 (永田台小学校エリア)

永田台小学校PTAは昨年度、決められた活動を行う委員会制を改め、委員会を細分化し、部ごとの自主運営制とした。この新しい組織を「学校応援隊」と称し、活動内容の異なる12の部に分かれて活動しており、その一つが「おやじ&フェス部」である。

現在部員数は11名で、流しそうめん大会などのイベントを企画・運営している。昨年は初の試みとして、災害時を想定し学校に泊まる企画を実施した。また、地域のイベントに模擬店を出店、町内会向けに活動のPRをするなど、地域活性化のお手伝いも積極的に行っている。部員が集まり自由に意見を出し合う様子は、まさに“大人の部活動”のよう。やりたいことを形にできる組織が人のつながり、地域のつながりを生んでいる。



「すべては子どもたちの笑顔のために。」

このテーマを胸に、私たち永田台小学校PTAは日々の活動に取り組んでいます。また、保護者と学校の先生、地域の皆さんと一緒に仲良く楽しむ姿を見せて、子どもたちの手本となることをモットーに活動をしています。

(永田台小学校 学校応援隊 おやじ&フェス部 代表 小林様)

みんなが楽しく
やりたいことを形に
できる部活動。
キラリンも入りたい!!



公園はみんなの集いの場 15年間続くラジオ体操

中島町公園愛護会 (中島町3・4丁目町内会)

本大岡 (ラジオ体操) 月～土曜日 ※雨天中止

大岡小学校の近く、中島町公園では早朝から多くの住民が集まりラジオ体操が行われている。毎週月曜日から土曜日、15年間続く活動だ。出欠票を作り、2、3日参加しない人がいると自宅を訪問し様子を伺う。また、体操の前後にはみんなで公園の清掃を行い、公園はいつもきれいに保たれている。

このほか公園では、食事会や木工体験、防災訓練やどんぐり拾いなどの様々なイベントを行う「青空サロン」が開催されている。「青空サロン」では、婦人部や子ども会、老人会など様々な団体が協力し、食事の準備や子どものお世話をしている。子どもから高齢者、そして障害のある方は自宅までお迎えに行くなどし、多くの人が集まり、まちぐるみで顔の見える関係性が築かれている。



当町内会は会館がないので、中島町公園が集いの場所になっています。近所の地域作業所の利用者さんにもイベントに参加してもらったり、挨拶をする関係性を築いています。公園を中心に人の輪ができていくことが嬉しいです。

(中島町公園愛護会 会長 八代様)

継続するって
大変なこと。
15年も続けている
なんてすばらしい!!



地域の笑顔をお届け 南区ソーシャルマガジン

キラリ

南の風はあったかい

相手を思いやりながら
さまざまな工夫をこらしながら
つながりを持ちながら

「キラリ」では
そんな素敵な取組を御紹介します

Vol.3
2018.11



◆永田助郷伝承保存会

北永田地区連合町内会では、永田村の歴史文化を次世代に継承するため、江戸時代の助郷制度を再現した「助郷行列」の披露や、永田小学校における歴史文化遺産の展示に取り組んでいる。昨年10月に行われた「北永田ふるさとふれあいまつり」(隔年開催)では、総勢100人による助郷行列が披露された。詳しい様子は次号をお楽しみに。

おやじがつなぐ地域の輪 世代間交流で地域活性化

南太田地域交流事業会

📍 太田 (南太田小学校エリア)



南太田小学校PTAおやじの会と太田地区町内連合会は連携し、様々な行事を通して世代間交流を進めている。春のお花見会、学校に泊まっちゃおう会、秋の味覚祭、防災訓練、餅つき大会。なかでも、親子で学校に宿泊する企画「学校に泊まっちゃおう会」は大変人気があり、今年は約240名の参加があった。子どもを預かるため安全面を最大限に考え、メンバー間で何度も話し合って当日に臨んでいる。このほか、地域行事のお手伝いも行っている。

こうした行事には、地域の青少年指導員、消防団、商店街、NPO法人、同小学校の卒業生など、多くの方々が協力してくれている。今後は、シニア世代や子ども会にも参加してもらい、地域全体で今以上に住みやすいまちづくりに取り組んでいきたいという。



幼少期に心に残るイベントは大人になっても心に残っています。おやじの背中を見て子どもたちもいつかは地域に貢献してもらいたいと思っています。また、地域行事は一步踏み出すと、知らない世界があり楽しい。会として、一步踏み出す環境づくりをしていきたいです。

(南太田地域交流事業会 事務局長 花村様)

地域のつながり
づくりが上手だね!
一步踏み出す環境
づくり...感動!キラッ!



1対1の日ごろからの見守り合い

庚台第二町内会

📍 太田東部 (庚台第二町内会エリア)



庚台第二町内会では、要支援者*1名について支援者*1名が災害時の安否確認等を行う「1対1対応」による災害時要援護者支援の取組を行っている。基本的に班内でペアを組み、支援者には要支援者の近くに住んでいる人を選んだ。支援者を依頼する際は、「自分のご家族の無事を確認できた後に要支援者の様子を見に行ってください」と、負担感を軽くするために伝え方を工夫した。また、要支援者・支援者のペアが決定すると、それぞれにお手紙を送付し、お互いに挨拶をするようお願いした。

さらに、防災訓練の際には、支援者は要支援者にお声掛けをして一緒に参加してもらうよう呼び掛けている。要支援者の近況について民生委員に連絡がくることがあり、日ごろからの見守り合いが行われている。

*庚台第二町内会では、災害時要援護者を「要支援者」、要支援者を支援する人を「支援者」としている。

「近助」が大切と考えた、坂間 前会長、平林 前副会長、加藤副会長が、支援者のお願いにあがると、皆さん快く引き受けてくださいました。これからは、災害時に要援護者支援が機能するよう、防災訓練への参加者を増やしていきたいです。

(庚台第二町内会)

班という、顔を
合わせる関係の中で
見守り合うのが
ポイントなんだね!



ファミリーレストランで深める地域のつながり

別所クラブ (別所第一町内会)

📍 別所 (サロン活動) 奇数月の第2日曜日



上大岡駅から徒歩10分、鎌倉街道沿いにあるファミリーレストランでは、2か月に1回、老人会「別所クラブ」によるサロン活動が行われている。きっかけは「近隣施設で開催する食事会に行けない人が増えているが、何かできないか」という何気ない会話。会館もなく、施設の利用日も限られていることから、近所の同店に相談したところ快諾してくれた。

まず、活動日のお知らせを、別所クラブ・友愛活動員・保健活動推進員が手分けして会員に手渡しする。次に、前日に電話で確認の連絡をする。そして後日、欠席者の無事を尋ねる。この3段階の見守りによるつながりのおかげか、集まる日が楽しみとなり地域には笑顔が増えた。今後は多世代交流の場としても活動を広げていきたいという。



ちょっぴりおめかしして2~3人で一緒にお店へ。皆さんの笑顔が素敵でこちらも笑顔になります。お元気で集えたことに感謝。ファミリーレストランで2年目になる食事会。一人でも多くの方が足を運んでくださることを願っています。

(別所クラブ 四野宮様、山崎様、大峯様、高野様)

近所のお店を
活用したサロン活動。
発想の転換が
イイネ!



町内会、子ども会、学童の連携で公園に笑顔の花咲く

鳥井戸公園愛護会 (井土ヶ谷中町第一町内会)

📍 井土ヶ谷 (公園清掃等) 毎月第1日曜日 (花植え) 年2回

鶴巻橋から少し歩くと、大きな桃太郎の像が目印の公園、鳥井戸公園が見える。当公園では年2回、町内会、子ども会、井土ヶ谷学童クラブが手分けをして花壇に花を植え、その後も協力しながら水撒きなど手入れをしている。これまで各団体は個別に活動していたが、学童クラブについては主任児童員が地域とのつなぎ役になるなどし、団体同士の連携が図られるようになった。

昨年12月、同公園は花壇や植栽等がリニューアルされた。そこで、同公園で毎年行っている防災訓練を、公園お披露目パーティーや焼き芋大会と一緒に開催したところ、子どもから高齢者まで約100名もの参加者があった。

団体同士のつながり、行事の同時開催により、活動の輪、人の輪が広がっている。

公園が綺麗になり、ごみの不法投棄が少なくなりました。また、花壇の手入れなど普段の交流を通して、子どもが挨拶してくれるようになりました。行事を通して顔見知りが増え、つながりが広がっていることを実感しています。

(鳥井戸公園愛護会 会長 渋谷様)

色んな団体が協力、
行事を同時に開催。
つながりのポイントが
ここにありそう!

